

令和5年度 フィールドワークゼミナール 成果報告会 報告レポート

令和6年2月8日に学内でフィールドワークゼミナール成果報告会が行われました。1年間のゼミナールでの活動の成果や今後の課題などをパワーポイントで報告しました。また、クライアントの方々にも登壇していただき、貴重なご意見やご感想を頂きました。また、多くの学生やクライアントの方々に参加頂き521教室が一杯になりました。



当日は、11ゼミナールがテーマに沿った活動の報告を行い、中小企業や地域に関する問題や研究、高齢社会に関する事など報告が行われました。下記は発表された順番とテーマです。

池田 潔ゼミナール

「フィールドワークによる中小企業と地域・社会の共生に関する研究」

桑島 紳二ゼミナール

「アートによる地域活性化-アートイベントの実践を通じて「公共」のあり方を考える-」

東山 明子ゼミナール

「スポーツ心理学を基にスポーツ支援の在り方を考える」

豊山 宗洋ゼミナール

「若者の目線で高齢社会の職業を考える-学外調査にもとづいた提言-」

大島 安奈ゼミナール

「多様化社会の観光まちづくり-来て住んで楽しいまちを考える-」

宍戸 邦章ゼミナール

「少子高齢化とまちづくり-フィールドワークで現状を理解する」

原田 禎夫ゼミナール

「フィールドワークによる河川環境保全の研究」

太田 一樹ゼミナール

「明日の成長を目指す企業の価値づくりと人材づくり-価値と実践を経験して、能力の可能性にチャレンジする-」

糸野 博行ゼミナール

「フィールドワークによる中小企業の起業家精神の研究」

近藤 祐二ゼミナール

「フィールドワークによる持続可能な観光地の可能性」

加藤 司ゼミナール

「マーケティング思考によるフィールドワークゼミナールの実践」



〔感想〕

学生運営委員の学生のみならず支援課の職員方の助けもあり、前準備や本番当日もスムーズに終わることができました。当日は、全ての発表がとてもスムーズに行われ、広報としての仕事を忘れてしまうくらいに聞き入ってしまうこともあり、とても充実した時間で成功させることができました。また、クライアント様にも登壇して頂き、改めて活動の成果が、実っていたように感じました。

閉会后に次の活動に向け話し合いをしているゼミナールもあり、とても有意義な時間になりました。私たちは、学生運営委員としてそれぞれが自分の役割をこなしていくことができ、他のゼミナールの方と12月から活動してきた中で互いに学ぶ点もあり、活動を通し成長することができいい体験となりました。

〔学生運営委員会〕

成果報告会を開催するにあたり、学生運営委員会が結成されました。運営委員は報告会をスムーズに進行させるために、ゼミナール内で指揮をとり、司会や受付、広報などを行いました。

学生運営委員

【池田ゼミ】

加藤 航
本田 実夢

【桑島ゼミ】

北浦 拓誠
坂田 朋哉

【東山ゼミ】

藤本 歩樹
中嶋 さくら

【豊山ゼミ】

真鍋 幸歩
井上 律輝

【大島ゼミ】

稲田 なおか
和多田 晴菜

【宍戸ゼミ】

島北 菜生
甲斐 優真

【原田ゼミ】

岩田 真也
蔭山 露

【太田ゼミ】

小山田 悠莉
岡崎 仁夢

【桑野ゼミ】

足立 直徒
岡 尚平

【近藤ゼミ】

岩崎 詩乃
与那嶺 匠

【加藤ゼミ】

坂本 桃香
箭田 葵